



パスファインダー Pathfinder ～あるテーマについて調べる際に、役立つ資料や調べ方を紹介します～

市販の薬も医師にもらった薬も、その効果や副作用を知り、正しく服用することが大切です。薬について、図書館の資料やインターネットを使って、理解を深めましょう。



※図書館では、資料・情報の検索、情報の提供のみを行います。症状や治療については、必ず専門の医師・薬剤師にご相談ください。
※情報を参照する際は、発行年・掲載年月日などをご確認ください。情報が古い場合があります。



1. 薬についての基本的な知識が欲しいとき

薬が作用する仕組みや主な薬の種類、創薬の話など、薬の基礎が分かる資料を紹介します。

■『意外と知らない薬の話（名市大ブックス）』（名古屋市立大学／編 中日新聞社 2023年）【499.0/イカ】

薬が商品になるまでの流れや、薬が効く仕組み、副作用のリスク、薬局・ドラッグストアを活用したセルフメディケーションなど、暮らしに役立つ様々な話が掲載されています。

■『くすり大図鑑』（掛谷 秀昭／監修 ニュートンプレス 2021年）【499/クス】

科学雑誌ニュートンが制作した図鑑です。薬の歴史や薬が作用する仕組みといった基礎的な知識から、主な医薬品とその作用、創薬に関する話題まで、図や写真を豊富に用いてわかりやすくまとめられています。

■『漢方薬 知っておきたい漢方薬 63×基礎知識×やさしい養生生活のコツ』

（櫻井 大典／監修 翔泳社 2021年）【499.8/カ】

多くの人が悩む心身の不調について、かぜや疲れなどの7つのカテゴリに分け、それに合った漢方薬を紹介しています。イラストが豊富で、漢方の基礎知識も掲載されており、初心者にもやさしい本です。

2. 個々の薬について調べたいとき

自分が飲んでいる薬について知りたいときに、役立つ資料を紹介します。

（1）医師からもらった薬（医療用医薬品）を調べる

■『お薬事典 2026-27年版』（郷 龍一／執筆 ユーキャン学び出版 2025年）【499.1/ゴウ/2026】

病院で処方された薬について、名前から調べることができます。内服薬の写真、効能効果、値段、重大な副作用、飲み忘れたときの対処方法がオールカラーで掲載されています。標準薬とジェネリック薬の写真や値段などを並べて比較できます。漢方薬や外用薬についても、写真や値段が収録されています。

■『医者からもらった薬がわかる本 2022-2023年版（第33版）』

（医薬制度研究会／著 法研 2022年）【499.1/イ/2022】

病院で処方されることが多い約13,000品目の内服薬・外用薬・一部の注射薬・漢方薬について、薬の名前、病名から調べることができます。処方目的、副作用、保険薬価、注意点、類似薬などが掲載されています。海外評価やPC（妊婦が使用した場合の安全性）も確認することができます。

■『くすりの事典 2022年度版』（片山 志郎／監修 成美堂出版 2021年）【499.1/クス/2022】

病院で処方される内服薬・外用薬・在宅自己注射液・漢方薬・抗がん剤、全6,450品目について、薬の名前、主な病名から調べることができます。効能効果、使用上の注意、副作用などが掲載されています。3,525点の薬については、実物写真から探すこともできます。

(2) 市販の薬（一般用医薬品）を調べる

■『クスリ早見帖ブック市販薬 1000』（平 憲二／著 南山堂 2025年）【499.7/㊦5】

1,000種類の内服薬・外用薬・漢方製剤（一般用医薬品・要指導医薬品・医薬部外品）の効能効果、剤形、用法・用量、写真などが掲載されています。

症状や製品名、ブランドから調べることができ、QRコードから添付文書などにアクセスできます。

■『JAPIC 一般用医薬品集 2025』（日本医薬情報センター／編集 2024年）【499.7/ジャ/2025】

一般用医薬品（配置薬を含む）・要指導医薬品約10,000品目の添付文書情報が整理・紹介されています。薬の名前、製造販売会社名から調べることができます。

(3) 漢方薬を調べる

■『健康保険が使える漢方薬の事典』（今津 嘉宏／著 つちや書店 2022年）【499.8/イ7】

市販・処方されている148の漢方薬について、生薬の構成や効能、症状別の選び方、副作用などを掲載。薬の名前や疾患・病状から調べることができます。

3. 最新の情報が知りたいとき

インターネットを用いると、最新の情報を手に入れることができます。以下のページを参考にしながら、注意して扱うようにしましょう。

※日本インターネット医療協議会（JIMA）「医療情報の利用の手引き」（<https://jima.or.jp/riyoutebiki/>）

◆「一般社団法人 山梨県薬剤師会」〈山梨県薬剤師会〉（<https://www.ypa.or.jp/>）

ホームページに、山梨県内会員薬局の一覧や、薬に関する相談事業の紹介などが掲載されています。

また、山梨県薬剤師会が運営する「薬事情報センター」では、薬についての電話相談を受け付けています。

◆「一般の方におすすめのコンテンツ」〈独立行政法人 医薬品医療機器総合機構〉

（<https://www.pmda.go.jp/pnavi-01.html>）

「くすりのQ&A」や「重篤副作用疾患別対応マニュアル」、各種相談窓口の案内など、薬を服用する際に知りたい情報が掲載されています。

また、医療用医薬品の効果・使用上の注意・副作用などをわかりやすくまとめた「患者向医薬品ガイド」や、医療用医薬品及び一般用医薬品などの添付文書を、検索・閲覧することができます。

◆「くすりのしおり」〈一般社団法人 くすりの適正使用協議会〉（<https://www.rad-ar.or.jp/siori/>）

医療用医薬品について、患者向けにわかりやすい表現で要約した情報を見ることができます。

製品名、主成分、剤形・色などから調べることができます。ホームページは英語に対応しています。

◆「医療情報ネット（ナビイ）」〈厚生労働省・都道府県〉

（<https://www.iryuu.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize>）

全国の医療機関・薬局について検索・情報収集ができる、公的検索システム。

場所や日時、相談内容、対応可能な言語、聴覚・視覚障害者に対するサービス内容などから検索できます。

ホームページは多言語に対応しており、音声読み上げ機能付きです。

4. 上記以外の資料を探すとき

(1) 直接棚を見る（図書館の分類番号：499）

・事典などの参考図書（貸出不可） → 2階参考図書コーナー（カウンター前）

・薬について書かれた、貸出可能な資料 → 2階一般資料コーナー（北側）

(2) 蔵書検索システムを使って調べる

検索時のキーワード例：「医薬品」「漢方」「市販薬」

「薬価」「ジェネリック医薬品」

編集・発行 2026.3 山梨県立図書館